

令和5年度 林業普及週間現地情報(9/24～9/30)

森林管理課

伐木作業時等における労働災害防止のための集団指導会

9月29日(金)

令和5年9月29日、林業・木材製造業労働災害防止協会(以下「林災防」)沖縄県支部が主催する「令和5年度 伐木作業時における労働災害防止のための特別活動」集団指導会(以下「指導会」)が名護市宇茂佐公民館において開催された。

同指導会は、厚生労働省が策定した「第14次労働災害防止計画」を踏まえ、林災防の安全管理士等による指導と併せて林野庁も連携し、林業普及指導員による伐木等作業の安全対策を推進する目的で実施されている。

今年度の指導会には、森林整備事業等の作業に従事する森林組合職員や作業員及び事業発注者である国、県、市町村等の関係者約54名が参加した。

県林業普及指導員からは「沖縄県における林業労働災害に対する課題と対策」と題して、沖縄県内の作業現場で遭遇する可能性が高いと思われる「かかり木」「熱中症」「ハチ刺され」「つつが虫」の4件について取り上げ講話を行った。

本県では直近の13年間は林業労働災害での死亡事例はないものの、後遺症等が残りがねない労働災害の発生事例は数件報告されている。今後も関係機関と連携しながら労働災害防止に向けた取り組みを継続し、労働災害ゼロに繋げたい。



(報告者：森林管理課 大城)